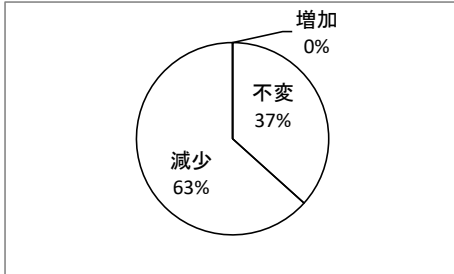


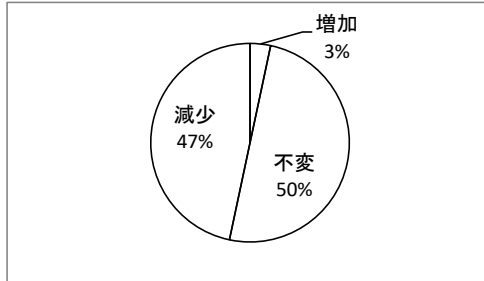
八街商工会議所 景気動向調査(R4.7月～9月)結果

対象事業所30事業所中30事業所から回答いただきました。
 (製造業5社、建設業6社、卸売業4社、小売業6社、飲食業4社、サービス業5社)

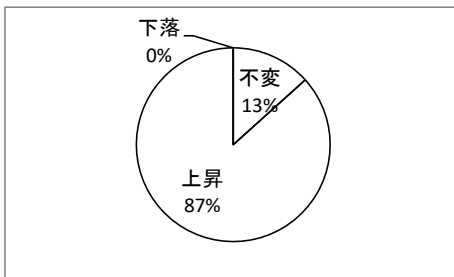
売上高 前年同月比



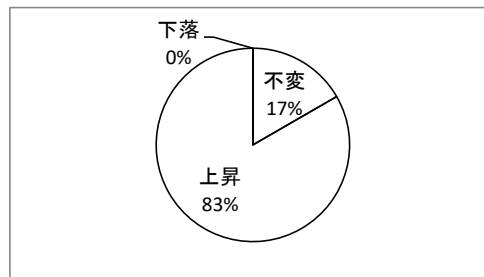
向こう3か月の先行き見通し



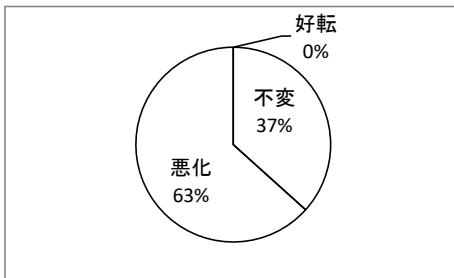
仕入単価 前年同月比



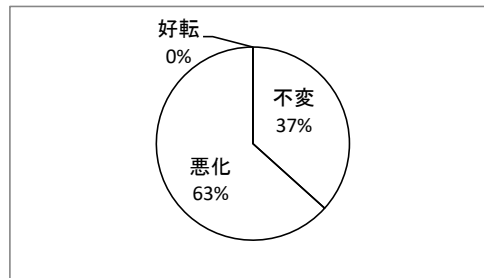
向こう3か月の先行き見通し



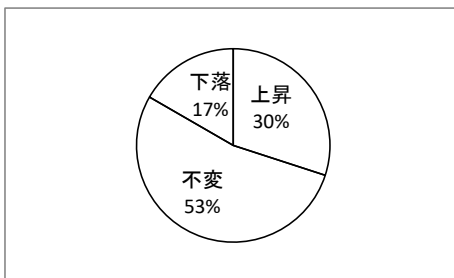
採算 前年同月比



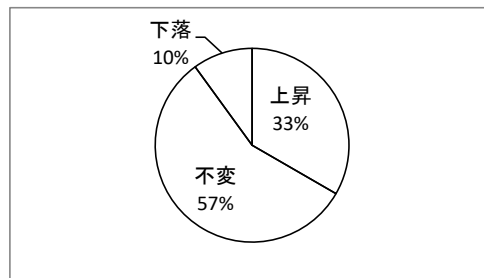
向こう3か月の先行き見通し



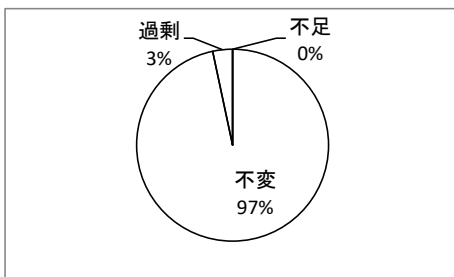
販売単価 前年同月比



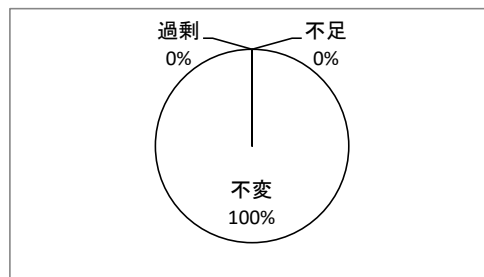
向こう3か月の先行き見通し



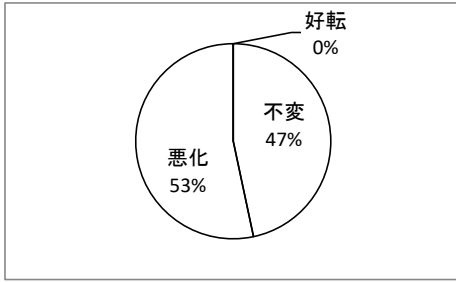
従業員 前年同月比



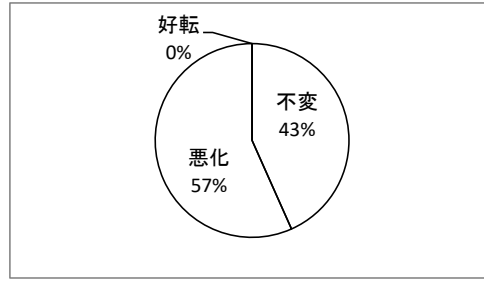
向こう3か月の先行き見通し



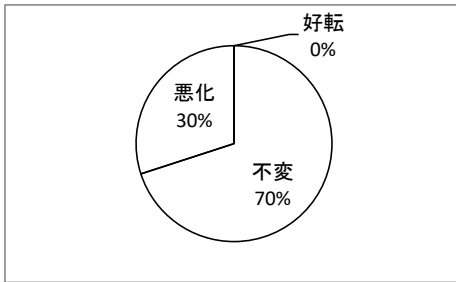
業況 前年同月比



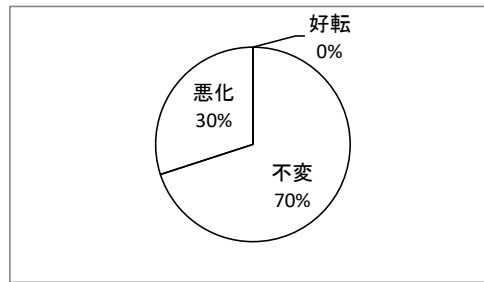
向こう3か月の先行き見通し



資金繰り 前年同月比



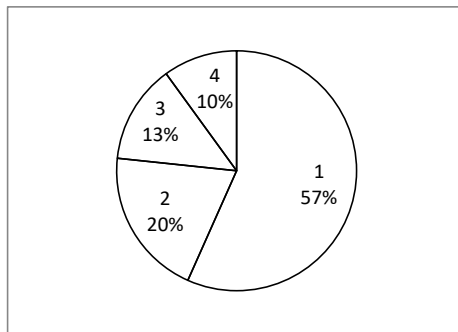
向こう3か月の先行き見通し



<付帯調査結果>

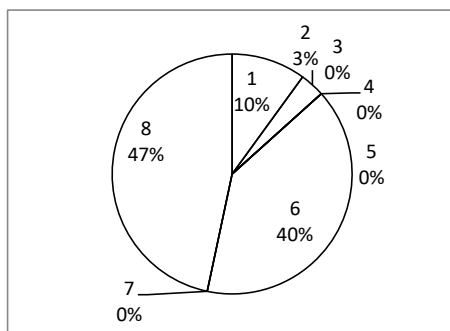
1. 新型コロナウイルスによる経営へのマイナスの影響について、選択肢から1つお選びください。

- 1: 影響が続いている。
- 2: 経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある。
- 3: 影響はない。
- 4: 分からない。



2. 貴社の資金繰りの状況について、当てはまるものを選択肢からお選びください。(複数選択可)

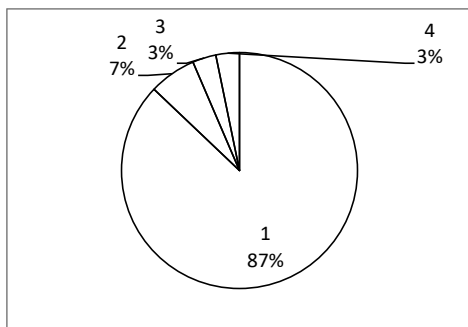
- 1: 金融機関への相談を行い、既往債務の借換を行った。
- 2: 金融機関への相談を行い、希望する額・条件での新規融資を受けた。
- 3: 金融機関への相談を行ったが、融資希望額より少ない額または短期間での返済となった。
- 4: 金融機関への相談を行ったが、融資・条件変更を受けられなかった。
- 5: 金融機関への相談を行っている、または審査待ちの状況。
- 6: 資金繰りに不安はあるが、現時点では相談はしていない。
- 7: 資金繰りが厳しく、廃業を検討している。
- 8: 資金相談は現時点で必要ない。



3.従業員の雇用状況についてお伺いします。

3-1.採用活動の実施状況について

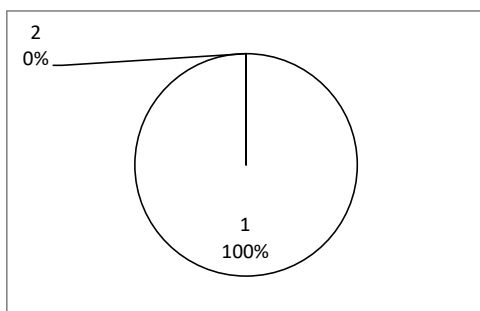
- 1:採用活動を実施しなかった。
- 2:従業員を採用した。
- 3:従業員が減少した。
- 4:募集したが、採用できなかった。



3-2.従業員を採用した方にお伺いします。

採用計画に対する充足状況について、当てはまるものを選択肢から1つお選びください。

- 1:計画した人数どおりに採用できた。
- 2:採用できたが、計画した人数には満たなかった。



<コメント欄>

◎材料費は高止まりで、又上昇する気配です...(建設業)

◎建設業ですが、ユーザーが合見積を取り交渉するケースが増えて良い事だが、営業力、方針により受注できないケースが見受けられる。(建設業)

◎材料仕入が値上げ(お酒、魚又は粉物すべて)売値に転換すると、今の世の中の状況を見ると、値上げは大変無理だと思います。適度な売値のバランスは必要だと思いますが、今までの人々の動きが戻ってくれるか心配です。

※コロナ禍でまだ千葉県での感染対策の方も少なくとも、来年3月まで、しっかり換気、アルコール消毒又は三密を避けての食事をお願いしますと言われてますから、とても厳しいです。(飲食業)

◎コロナ第7波が終息に向かう事なく、高齢者の夜の外出は未だに見込めません。仕入単価はどんどん値上がり、酒類も10月より値上げの形となります。消費者はこの値上げに対し、買い貯めに走り、外食費が更に圧迫され外飲み動機を疎外しております。このダブルパンチをクリアするには、個性的な店作り(あの店にしかない、あの店以外置いてない)を押し進めていく必要があると思います。「淘汰」される時代が来るのだと感じています。体力の貯え、強力な応援を今から考えておく必要があると思います。(飲食業)

◎来院人数も減少している中で物価も上昇しており状況もよくない!!(サービス業)